

質 問 回 答 書

件名	深谷市子どもの学習・生活支援事業未来応援教室ぱるスタ業務委託		
No.	質問項目	質問内容	回答
1	仕様書 1P 3 支援対象者	令和4,5,6年度について 本事業の総利用者数と年間出席率をご教示ください。 また、中学生、高校生の人数の内訳もご教示ください。	R4年度 総利用者数60名、年間出席率78％ 中学生34名、高校生26名 R5年度 総利用者数77名、年間出席率62％ 中学生41名、高校生36名 R6年度 総利用者数75名、年間出席率77％ 中学生35名、高校生40名
2	仕様書 2P 7 (2) ウ 体験活動等の実施	令和4,5,6年度について、実施した体験活動の内容（活動名・概要）および各活動の参加人数をご教示ください。	R4年度 ・「彩の国芸術劇場主催の舞台鑑賞会」 7名 ・「いちご収穫体験」 15名 ・「和菓子作り体験」 10名 ・「みかん収穫体験」 13名 ・「埼玉県芸術文化振興財団主催のクラシック鑑賞会」 6名 ・「JAF職場体験」 2名 ・「ハロウィンイベント」 23名 ・「クリスマスイベント」 13名 ・「卒業・進路を祝う会」 14名 R5年度 ・「いちご収穫体験」 13名 ・「豆腐作り体験」 10名 ・「JAFロードサービス体験」 2名 ・「野菜収穫、調理体験」 12名 ・「NHK交響楽団公演無料公演鑑賞会 2名 ・「バッハ・コレギウム・ジャパン無料公演鑑賞会」 2名 ・「統一模試（中3生）」 5名 ・「ハロウィンイベント」 9名 ・「クリスマスイベント」 18名 ・「卒業・進路を祝う会」 13名 R6年度 ・「いちご収穫体験」 14名 ・「JAFロードサービス体験」 4名 ・「和菓子作り体験」 20名 ・「みかん収穫体験」 12名 ・「統一模試（中3生）」 10名 ・「ハロウィンイベント」 13名 ・「クリスマスイベント」 14名 ・「卒業・進路を祝う会」 18名
3	仕様書 5P 8 (7) ウ 学習支援ボランティアの活用	「無報酬とする」との記載はあくまで原則としての理解でよろしいでしょうか。有償ボランティアとして実施することも問題ないか、併せてご教示ください。	「無報酬とする」は、あくまで原則であると考えております。 もし「有償ボランティア」を利用する場合は受注者の費用負担となります。